

科目名	スポーツ実習（アダプテッド）						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春／秋	開講学部等	現代社会学部	配当年次	1 年次	単位数	1 単位
教員名	奥田 睦子						

授業概要／Course outline

人間の多様性を尊重しつつ共に生きることが求めている現代社会（ポスト近代社会）において、スポーツという一つの文化的活動においても多様性の尊重とその保障が求められることは当然である。しかしながら、必ずしもそれが保障されていないのが現状である。

本授業では、「人の側に用具やルールを合わせたスポーツ」（アダプテッドスポーツ）体験やポスト近代スポーツの特徴を持つスポーツ体験、状況に合わせて簡易な運動遊びの用具を用いて臨機応変にスポーツを創っていくことなどを通じて、多様性の尊重とその保障に必要なスポーツの考え方とはどのようなものであるのかを考えるきっかけとする。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

実習

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

授業に関連するパラスポーツ（障がいのある人のスポーツ）についてのユーチューブを視聴し、「人の側に用具やルールを合わせたスポーツ」（アダプテッドスポーツ）の様々な方法や考え方を理解する。授業期間内に3回程度に分けて行う予定である。視聴時期については、授業内でアナウンスする。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：授業概要や進め方等の説明

授業の到達目標の進め方、評価方法等について説明する。

第2回 テーマ：モルック体験（1）

第3回 テーマ：モルック体験（2）

第4回 テーマ：様々なバレーボール体験（1）ビーチバレーボール

第5回 テーマ：様々なバレーボール体験（2）ソフトバレーボール

第6回 テーマ：様々なバレーボール体験（3）シットイングバレーボール

第7回 テーマ：様々な卓球体験（1）卓球バレー（大人数）

第8回 テーマ：様々な卓球体験（2）ラージボール卓球、硬式卓球

第9回 テーマ：様々な卓球体験（3）サウンドテーブルテニス（視覚障害）

第10回 テーマ：ボッチャ体験（1）ルールの理解

第11回 テーマ：ボッチャ体験（2）重度障害者へのアダプテッドの理解

第12回 テーマ：ボッチャ体験（3）ゲームの運営

第13回 テーマ：車いすを用いた運動遊び

第14回 テーマ：全体のまとめ（「レポート」作成）

★ オンデマンド（90分相当）テーマ：授業に関連するパラスポーツ（障がいのある人のスポーツ）についてのユーチューブを視聴し、「人の側に用具やルールを合わせたスポーツ」（アダプテッドスポーツ）の様々な方法や考え方を理解する。授業期間内に3回程度に分けて行う予定である。視聴時期については、授業内でアナウンスする。

事前・事後学修／Preparation and assignments

【事前学修】パラスポーツ（障がいのある人のスポーツ）について関心を持ち、どのようなパラスポーツがあるのかを調べておくこと。

【事後学修】授業で行った内容から、アダプテッドスポーツの意義について自分なりにまとめること。

※ 事前に提示する課題および授業の順番等について、変更になる可能性もあります。変更の場合はその都度、授業中やmoodleを使用して連絡します。

※ 各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とする。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・障がいのある人のスポーツの様々な課題について、課題が生じる背景について歴史的、社会的な背景から社会的に考察し、説明ができる。
- ・アダプテッドスポーツについて、スポーツを創るための基本的な手順がわかる。
- ・アダプテッドスポーツの現代社会における意義が、説明できる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- | | |
|----------|---------------------|
| ・発信力 | 専門知識・専門技能 |
| ・協働性・協調性 | 【現代社会学部 健康スポーツ社会学科】 |
| ・創造性 | ・リーダーシップ |

履修上の注意／Special notes, cautions

・体育館で実施することがある場合には、授業やmoodle上等で連絡をします。したがって、授業を欠席した場合には、友人やmoodle等から授業についての情報収集を行うようにしてください。

評価方法／Evaluation

- ・平常点100%（授業に取り組む態度90%、全体のまとめ「レポート」10%）。

教 材／Text and materials

【参考文献】

井上俊・菊幸一編著『よくわかるスポーツ文化論』（ミネルヴァ書房）

井上俊・亀山佳明編著『スポーツ文化を学ぶ人のために』（世界思想社）

齊藤まゆみ編著『教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学』（大修館書店）

田中暢子・松本格之祐ほか編著『実践で学ぶ！学生の社会貢献—スポーツとボランティアでつながる』（成文堂）

松田恵二・松尾哲矢ほか編著『福祉社会のアミューズメントとスポーツ—身体からのパースペクティブ—』（世界思想社）

質問や相談の方法／Instructor contact

・授業に関する質問や相談などがある場合は授業終了後に質問するか、moodle上でお知らせするメールアドレスにご連絡ください。